

[SGS 化学物質等安全データシート(MSDS)] Hangsen リキッド (日本語訳)

[免責事項]

本日本語訳は、SGS の化学物質等安全データシート(MSDS)の日本語訳であります。
本日本語訳とオリジナル MSDS(英文)の記載に相違がある場合、オリジナル
MSDS(英文)の記載が優先します。

本日本語訳の誤訳、誤記載による損害については、一切責任を負いません。

[ご注意事項]

本日本語訳の無断転載は固くお断り申し上げます。

株式会社アクトファースト

番号: GZ1005048788/CHEM

日付: 2010/5/10

この報告書はGZ1004039737/CHEMの報告結果に優先する。

GZ1004039737/CHEMの報告書の評価結果は、GZ1004039734/CHEMの報告書より引用。

会社名: HONGKONG HANGSEN INTERNATIONAL TRADING CO.,LTD

住所: UNIT 1003, BLOCK D2, FUTONG CITY PHASE □, XIXIANG AVENUE, BAO' AN
DISTRICT, SHENZHEN, CHINA

SGS Ref No.: GZHG1005000962CO

製品名: Fruit Flavor E-Liquid

製品最終使用: 電子濾過液

成分: ダマセノン(0.1%)、2,5-ジメチルピラジン(2.0%)、ビタミンC(0.2%)、 α -イオン(1.8%)、グリセリン
(69.1%)、バニリン(9.0%)、ピーチアルデヒド(1.0%)、クエン酸水和物(1.5%)、バニラエキス(15.0%)、エチ
ルマルトール(0.3%)

受付日: 2010/4/19

準備期間: 2010/4/19-2010/4/26

概要:

このSDSの内容および形式は、REGULATION(EC)No.1907/2006, EU Commission Directive 1999/45/EC, 67/548/EECに従っている。

発行日 2010/10/5

改定日 2010/4/26

製品安全データシート

1907/2006/EC, 1272/2008/EC

1. 化学物質等及び会社情報

・製品詳細

・製品名 : Fruit Flavor E-Liquid

・記事番号 : MG 6886

・登録番号 : 不明

・薬品使用 : 電子濾過液

・会社情報:

会社名 HONGKONG HANGSEN INTERNATIONAL TRADING CO.,LTD

住所 UNIT 1003, BLOCK D2, FUTONG CITY PHASE □, XIXIANG AVENUE, BAO' AN DISTRICT, SHENZHEN, CHINA

電話番号 +86-755-27793094

FAX番号 +86-755-2794-5543

・緊急時の連絡先

Liu Ping

電話番号 +86-15013886730

・Eメール: FRANCES@HKHANGSEN.COM

・照合番号: GZHG1005000962CO;GZ1005048788/CHEM

2. 危険有害性の要約

・危険有害性: 該当なし

・人体および環境への危険有害性: EUのgeneral classification guideline for preparationsにより有害性を示すラベルはこの製品に付けられていない。

・分類: 最新版の1907/2006EC, EU Commission Directive 1999/45/EC, 67/548/EECに従って行われ、会社のデータや文献データにより補足。

3. 組成及び成分情報

・化学的特性評価

・説明:

下記リストにある非危険物質の融合物。

(リスクフレーズ セクション16を参照。)

・危険成分:

CAS:121-33-5 EINECS:204-465-2 バニリン Xn(有害性); R22(飲み下すと有害性がある) 9.0%

CAS:123-32-0 EINECS:204-618-3 2,5-ジメチルピラジン Xn(有害性); R22(飲み下すと有害性がある) 2.0%

CAS:5949-29-1 EINECS:201-069-1 クエン酸水和物 Xi(刺激性); R36(眼に刺激性がある) 1.5%

CAS:4940-11-8 EINECS:225-582-5 2-エチル-3-ヒドロキシ-4-ピラノン Xn(有害性); R22(飲み下すと有害性がある) 0.3%

CAS:23696-85-7 EINECS:245-833-2 ダマセノン F(高引火性);R11(強い引火性がある) 0.1%

・非危険成分

CAS:8024-06-4 バニラエキス 15.0%

CAS:127-41-3 EINECS:204-841-6 4-[2,6,6-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-イル]-3-ブテン-2-オン 1.8%

CAS:104-67-6 EINECS:203-225-4 ピーチアルデヒド 1.0%

CAS:50-81-7 EINECS:200-066-2 アスコルビン酸 0.2%

CAS:56-81-5 EINECS:200-289-5 グリセリン 69.1%

・注記:

アスコルビン酸(CAS No.:50-81-7)

同意:ビタミンC

4-[2,6,6-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-イル]-3-ブテン-2-オン(CAS No.:127-41-3)

同意: α -イオン

2-エチル-3-ヒドロキシ-4-ピラノン(CAS No.:4940-11-8)

同意:エチルマルトール

4. 応急措置

- ・吸入した場合:新鮮な空気を吸う。改善しなければ医師の指示に従うこと。
- ・皮膚に触れた場合:通常、皮膚を刺激することはない。
- ・目に入った場合:目を流水で数分間すすぐこと。
- ・飲み込んだ場合:症状が続くなら医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

- ・適した消火剤:周囲の状況に応じた消火方法を用いること。
- ・保護装備:完全に防護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

- ・人体に関する安全措置: 保護具を着用する。保護具を着用していない人を遠ざける。
- ・環境保護に対する措置: 上下水道へ漏出させないこと。
- ・洗浄及び回収の措置: 吸着剤(土、珪藻土、酸性結合剤、万能結合剤、おがくず)で吸着させ取り除くこと。

追記: 安全な取り扱いに関してはセクション7を参照のこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い
- ・安全に取り扱うための注意事項: 取扱い場所では十分な換気及び排気をする。
- ・防火・防爆のための注意事項: 火の元に近づけない。喫煙しない。

・保管

- ・保管場所及び保存容器に関する必要条件: 冷所で保管すること。
- ・一般的な保存場所: 食品からは離して保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

技術的設備に関する追記: 特になし。セクション7を参照のこと。

・許容暴露限界上限値

56-81-5 グリセロール

時間荷重平均濃度PEL(アメリカ) 15*5**mg/m³

*総煤塵量 * *呼吸性画分

暴露許容濃度TLV(アメリカ) 10*ppm

* 蒸気

最大許容作業濃度MAK(ドイツ) 50E mg/m³

Vgl.Abschn.Xc

121-33-5 バニリン

作業環境許容濃度WEEL(アメリカ) 10mg/m³

5949-29-1 クエン酸水和物

最大許容作業濃度MAK(ドイツ) vgl.Abschn.IIb

- ・推定無影響レベル: 該当なし
- ・予測無影響濃度: 該当なし
- ・追記: 製作の間、有効なリストが、基礎として使われました
- ・保護具

- ・一般的な保護具と衛生的措置:

化学製品を扱うときにおいて一般的な予防措置を固守すること。

- ・呼吸器用の保護: 必要に応じた保護マスクを着用する。

- ・手の保護具: 保護手袋

手袋は不浸透性で、物質や溶剤に耐性のある素材であること。

手袋の素材は所定の材質、溶剤、化学合成物でのテストを推奨する。

手袋の素材を選ぶにあたっては、浸透した場合を考慮する。

- ・手袋の素材:

適した手袋を選ぶ場合、メーカーによって品質が変化するので素材だけを頼りにしないほうがよい。いくつかの物質の化合物で構成されているため、手袋材料の抵抗は前もって計算することは困難なため、選ぶ前にチェックが必要である。

- ・手袋の素材の耐久性:

経年的な劣化は保護手袋のメーカーには分からないので、観察することが必要。

- ・目の保護: 補充する間は保護メガネの着用を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

・外観

物理的状态: 液体

色: 淡黄色

香気: フルーツフレーバー/甘い

・状態変化

融点: -65°C

沸点: $>250^{\circ}\text{C}$

・引火点: 171°C

・引火性(固体、気体): 該当なし

・発火温度: 421.1°C

・自己発火: 製品は自己発火はしない

・爆発の危険性: 製品は爆発の危険はない。しかし、起爆性の気体及び蒸気の形成はする。

・爆発限界:

下限: 該当なし

上限: 該当なし

・酸化特性 該当なし

・蒸気圧: 該当なし

・比重: 1.125g/cm^3

・相対密度: 該当なし

・蒸気密度: 該当なし

・蒸気率: 該当なし

・可溶性/混和性

水:50mg/ml

- ・pH値:該当なし
- ・偏析係数(オクタノール/水):該当なし
- ・粘度:

20℃下:56.0mPas

- ・追記:製品性質:食品添加物

10. 安定性及び反応性

- ・避けるべき熱分解及び条件:仕様のとおりに使えば分解されない。
- ・危険な分解生成物:危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

- ・急性毒性
- ・関連する半数致死量／濃度

50-81-7 アスコルビン酸

経口投与 半数致死量 11900mg/kg(ラット)

127-41-3 4-[2,6,6-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-イル]-3-ブテン-2-オン

経口投与 半数致死量 4590mg/kg(ラット)

56-81-5 グリセロール

経口投与 半数致死量 12600mg/kg(ラット)

121-33-5 バニリン

経口投与 半数致死量 1580mg/kg(ラット)

104-67-6 ピーチアルデヒド

経口投与 半数致死量 18500mg/kg(ラット)

5949-29-1 クエン酸水和物

経口投与 半数致死量 5040mg/kg(マウス)

4940-11-8 2-エチル-3-ヒドロキシ-4-ピラノン

経口投与 半数致死量 780mg/kg(マウス)

1150mg/kg(ラット)

・目や皮膚に対する刺激性

・皮膚に触れた場合:

・目に入った場合:

・感作性:

・その他(毒物学的な):

Fruit Flavor E-Liquid

経口投与 半数致死量 >10000mg/kg(マウス)

・追加の毒物学的な情報:

製品は最新版のGeneral EU Classification Guidelinesの計算方法によって分類されていない。

適切に取り扱えば、製品が人体に有害な影響をもたらすことはない。

・トキシコキネティクス、代謝と分布: 該当なし

・急性毒性(急性毒性、刺激性と腐食性): 該当なし

・慢性毒性: 該当なし

・CMR物質(発がん性、変異原性、または生殖毒性を有する物質): 該当なし

12. 環境影響情報

・廃棄(残留性と分解性): 該当なし

・環境システムでの行動

・移動性と生物濃縮の可能性: 該当なし

- ・エコ毒性

- ・水中毒性: 該当なし

- ・追加の環境影響:

- ・概略:

水質有害度分級1(ドイツの水質汚染規制)(自己評価): わずかに水質を汚染する

製品を薄めずに大量に土壌、水路、下水道へ漏出するのは回避すること。

- ・PBT(難分解・高濃縮・毒性)評価: 該当なし

13. 廃棄上の注意

- ・製品

- ・推奨: 少ない量であれば家庭ごみとして処分できる。

- ・洗浄されていない容器

- ・推奨: 公的機関の規定に従って処分すること。

14. 輸送上の注意

- ・陸上輸送ADR/RID(cross-border)

- ・ADR/RIDクラス: -

- ・危険コード(Kemler): -

- ・国連番号: -

- ・パッキンググループ: -

- ・危険標識ラベル: -

- ・商品解説: -

- ・量の制限: -

- ・輸送の種類: -

・海上輸送IMDG(国際海上危険物規則)

・IMDGクラス:ー

・国連番号:ー

・ラベル:

・パッキンググループ:ー

・EMSナンバー:ー

・海洋汚染:はい

・分離グループ

・適当な輸送名:ー

・航空輸送ICAO-TIとIATA-DGR

・ICAO/IATAクラス:ー

・国連番号:ー

・ラベル:ー

・パッキンググループ:ー

・適当な輸送名:ー

15. 適用法令

・SARA

・第335条(極めて危険有害な物質):

どの成分も該当しない。

・第313条(特定の中毒化学製品リスト)

どの成分も該当しない。

・TSCA(有害物質規制法):

すべての成分が該当する。

・PROP65

・発がん性が知られる化学物質：

どの成分も該当しない。

・女性の生殖障害を引き起こす化学物質：

どの成分も該当しない。

・男性の生殖障害を引き起こす化学物質：

どの成分も該当しない。

・発達障害を引き起こす化学物質：

どの成分も該当しない。

・発がん物質

・EPA発がん性評価(米国環境保護庁)

どの成分も該当しない。

・IARC発がん性リスク一覧(国際がん研究機関)

どの成分も該当しない。

・NTP(米国国家毒性プログラム)

どの成分も該当しない。

・TLV(ACGIHによる暴露限界)

どの成分も該当しない。

・NIOSH-Ca(国立労働安全衛生研究所)

どの成分も該当しない。

・OSHA-Ca(米国労働省労働安全衛生庁)

どの成分も該当しない。

・EUガイドラインによる分類：

この製品はREGULATION(EC)no.1907/2006,Directive67/548/EEC及び199/45/ECによって危険であると分類されていない。

この製品を取り扱うときは一般的な規則を守ること。

・特定の調剤を識別する分類:

要請に関するプロのユーザーが利用できる製品安全データシート

16. その他の情報

・関連したリスクフレーズ

11 極めて強い引火性がある。

22 飲み下すと有害性がある。

36 眼に刺激性がある。

このMSDS/SDSの内容と形式はREGULATION(EC)No.1907/2006(EU Commission Directive1999/45/EC,67/548/EEC)に則っている。

記載内容の取扱い

このMSDS/SDSの情報は、我々が信頼する業者から得たものです。しかし、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関して注意しないで提供されております。製品の取扱い、保管、使用または処分状況または方法が通常でない場合、我々はいかなる損失、損害または費用に対する責任を負いません。このMSDS/SDSは、この製品のためだけに提供されたものです。この製品が他の製品と混合した場合、このMSDS/SDSの情報は適用できない場合があります。

以上